

第20回東日本還暦軟式野球大会

うしくゴールデンボーイズ 2連覇達成

「第20回東日本還暦軟式野球大会」が群馬県太田市で、8月27日から4日間かけて開催され、参加32チーム中、うしくゴールデンボーイズが2連覇し、4度目の優勝を達成しました。また、最優秀選手に同チームの大畑義雄選手、首位打者に駒林正弘選手が選ばれるなど、実力が存分に発揮された結果となりました。



写真提供：毎日新聞前橋支局

「敬老の日」100歳をお祝い

元気に100歳、秘訣は？

9月21日の「敬老の日」を前に、池辺勝幸前市長は16日、今年度末までに満100歳を迎える方、計8人のうち、3人を訪問し、長寿を祝いました。

その中の1人、瀬賀シンさんは、身の回りのことはなんでもできるとのこと。長寿の秘訣を尋ねられると、「好き嫌いせず、なんでも食べること。お酒も少ししたしなみます」と笑顔で答えていました。



池辺前市長からお祝いの褒状と記念品を受け取る瀬賀さん

寄付 温かい善意ありがとうございます

●岡田地区スポーツ交流会

ゴルフ大会 チャリティー募金

岡田地区スポーツ交流会(会長田中隆之)主催のゴルフ大会が9月7日に行われ、表彰式で福祉チャリティー募金を行いました。合計17,206円が集まり、田中会長より、牛久市社会福祉協議会へ全額寄付をしていただきました。



●防災対策に100万円寄付

10月8日、木材の再処理や木材チップ製造などを行っている(有)イーペック牛久(淀川文男代表取締役)より、市に100万円を寄付していただきました。この寄付は、消防などの防災対策に使われます。淀川代表は「ぜひ、防災対策に活用してほしい」と話していました。



日本のおどりよろこび座キッズ

民謡民舞全国大会・民舞の部で優勝

「民謡民舞少年少女全国大会」が8月29日、30日に東京都内で行われ、「日本のおどりよろこび座キッズ」が「民舞団体の部」で優勝しました。

この大会は、15歳未満の子どもたちが出場する大会で、同団体は曲目「おてもやん」を披露しました。メンバーの子どもたちは「男性と女性の踊り方の違いを表現するのが難しかったけど、頑張りました」「優勝して嬉しい」と話していました。



NHK全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロック

牛久一中混声合唱団が金賞受賞

牛久第一中学校混声合唱団がNHK全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロックで金賞を受賞し、団員49人を代表して団員4人、指導の先生、校長先生が、9月25日、市役所を表敬訪問しました。混声合唱団のメンバーは昼休みや週末を利用して練習を重ね、今年度は他にも全日本合唱連盟関東支部茨城県合唱コンクールで金賞を、TBS子ども音楽コンクール茨城県地区大会で最優秀賞を受賞しています。



ウナギ放流と自然観察の集い

牛久沼へウナギの稚魚250匹を放流

牛久沼の護岸で、9月27日、ウナギ放流と自然観察の集いが行われました。このイベントは、牛久沼周辺の自然に触れ、環境保全や水質浄化への気持ちを育む事を目的に毎年行われています。

活動の中心になっているのは、主催である牛久市家庭排水浄化推進協議会、牛久沼漁業協同組合、牛久ロータリークラブ、NPOうしく里山の会と牛久市



青年海外協力隊

牛久から世界の国へ国際協力

独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊としてモンゴルに派遣される市内在住の只野茉莉子さんが、9月25日、出発を前に市役所を表敬訪問しました。只野さんはオルホン県(冬には零下40度の極寒地)の幼稚園に派遣されます。そこで幼稚園、保育園での職務経験を活かし、園児の指導プログラムの考案などに取り組む予定です。

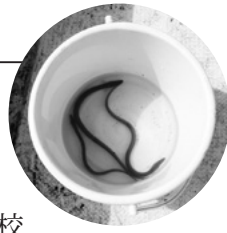


で、さらに牛久第三中学校科学部の生徒にも協力していただきました。

当日は、101人の市内小学生親子が参加し、元気なウナギの稚魚250匹を放流しました。

ウナギは回遊魚で、牛久沼からはるか2,000キロも南のマリアナ海溝まで旅をします。この話を聞いた子どもたちは、これから往復4,000キロもの長旅を始めるウナギの稚魚に、「無事に帰ってきてね!」「元気でね!」と声をかけていました。

また、城中地区の昆虫や草木の自然観察も行われ、豊かな牛久沼周辺の自然を満喫しました。



宝くじの社会貢献広報事業による助成

宝くじで地域コミュニティ活動を活性化

第8岡見行政区(提箸明晴区長)では、財団法人自治総合センターからコミュニティ助成事業で250万円の助成を受け、物置やテントを購入しました。同センターでは、宝くじの普及広報の一環として全国宝くじの売上金の一部を財源に、地域コミュニティ活動の健全な発展を図るための助成事業を実施しています。



助成を受けて購入した物置

栄西行政区、久野行政区

たまり場で楽しく交流

「たまり場」とは地域コミュニティの活性化に貢献している集会所などを指し、現在63行政区中24行政区が運営しています。

栄西行政区

栄西行政区(勝村孝区長)の「たまり場」では、交流のための食事会が毎月行われています。9月9日は、地域の方が約25人集まり、調理と食事を楽しみました。当日はうどんを生地から作りました。参加者からは「うどんを生地から作ることはあまりないので楽しい」、「みんなで食べるとおいしい」などの声があがっていました。



日頃料理をしない男性も、食事会の調理には積極的に参加しているとのこと

久野行政区

「たまり場活動」に参加している久野さくら会では、9月27日、子供会との合同で、ソーメン流しやピザ焼きなどを行いました。初めての経験とのことで喜んでくれた春の餅つき大会に次いで、今回が2回目の交流会。参加者が40人ほど集まり、今回も盛会に終わりました。



12年間の牛久市政への思い

池辺勝幸前市長が任期満了に伴い、10月2日に退任しました。

3期12年務めた池辺前市長は「12年で市役所の体質を変えることを目標とし、子育て世代を呼び寄せる結果となった。教育についても『学び合い』授業を本格化させ、成果が出始めている。職員にはこれからも牛久の環境を見据え、実行する力に期待する」と挨拶しました。

また同日、野口憲前副市長も「職責を果たすことができた。今



後は一市民として市政をみていきたい」と退任の挨拶をし、2人は市役所正面玄関で職員から花束を受け取ると、拍手で送られ、市役所を後にしました。



市職員から見送りを受ける池辺前市長(写真左)

グリーンファーム×シャトーカミヤ

牛久産小麦「ゆめかおり」でビール誕生

このたび、シャトーカミヤが、牛久市が出資する農業生産法人うしくグリーンファーム(株)の栽培する小麦「ゆめかおり」を使用したビールを製造しました。

このビールはアメリカンホップによる柑橘系の香り漂うさわやかな味わいが特長。「牛久ホワイト」と命名され、9月に横浜で開催されたビールの国際的な審査会「インターナショナル・ビアカップ2015」では、見事金賞に輝くという快挙を成し遂げました。



現在、シャトーカミヤ内レストラン「ラテラス・ドゥ・オエノン」とバーベキューガーデンで提供。今後瓶ビールとして販売される予定です

国指定重要文化財シャトーカミヤ

シャトーカミヤ 旧醸造場施設、修復進む

国指定重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設は、平成23年12月に文化庁から保存修理(災害復旧)工事の事業認可および茨城県と牛久市の補助を受け、平成24年3月から工事に着手しました。今年4月には工事が終了した旧貯蔵庫(レストランキャンオン)が先行オープンしましたが、11月からは外装工事を終えた旧事務室(本館)の素屋根(仮設物)の解体が始まります。

残る工事は、平成28年3月完了を目標に事業を進め、平成28年度中に現在未公開の施設も公開を再開する予定です。



旧事務室修理状況

皆さんからの義援金が復興の後押しに

地震により甚大な被害を受けたネパールへ、市民からの善意により集まった約434万円の義援金を、同国ガンタキ県カスキ郡のポカラにある、ポカラ・フェワレイクシティ・ライオンズクラブへ送金しました。カスキ郡は首都カトマンズの北西約200kmに位置し、標高450mから8,000m超と幅のある遠隔地で、国からの支援が届きにくい地域です。同ライオンズクラブからは牛久市長宛てに感謝状をいただきました。

また、市内在住のネパール人カトリ・チャム・バハドルさんが現地に向かい、



ぶどう園通り商店会の方や同ライオンズクラブの方と一緒に、現場での支援物資調達や配布にご尽力をいただきました。残りの義援金は、被災した高校の改修工事に充てられる予定です。



- 1 ポカラ・ライオンズクラブから牛久市長宛てに届いた感謝状
- 2 緊急支援物資配布の様子(写真左はカトリさん)

牛久警察署 安全・安心フェスティバル

稀勢の里関が一日警察署長に！



1



2

- 1 大会宣言をする稀勢の里関
- 2 ドライバーに交通安全を呼びかける稀勢の里関
- 3 稀勢の里関が指揮をし、県警音楽隊と共演するサプライズもあり、会場は大いに盛り上がりました



3

「牛久警察署 安全・安心フェスティバル～稀勢の里関一日警察署長～」が10月6日、中央生涯学習センターで行われ、平日にも関わらず約800人が来場しました。

牛久警察署の橋本康一郎署長が、一日警察署長の委嘱状を手渡すと、稀勢の里関は笑顔で受け取りました。牛久警察署の署員から、日頃の交通安全や防犯について聞かれた稀勢の里関は「自転車の無灯火は怖いですね。防犯については、戸締まりに気を付けています」と答えていました。

フェスティバルでは、二セ電話詐欺の恐ろしさについて学ぶ寸劇などもあり、来場者たちは楽しみながら防犯などについて知識を深めました。

今月の
たいへんよくできました
奥野さくらふれあい保育園のお友だち



ぞうぐみ



▲運動会の出し物の荒馬も披露。勢よく飛び出してあっという間に駆け抜けます

奥野さくらふれあい保育園のお友だちが、運動会の入場門と荒馬を披露してくれました。入場門は「海」をテーマに、海に住む生き物について、自分たちで図鑑で調べて製作しました。作成には、空き箱や発砲スチロールなどの廃材を使い、立体的な入場門が出来上がりました。みんな、よくできましたね！

1156号

2015 11月1日号
平成27年11月1日発行

発行・編集 牛久市市民活動課
〒300-1292
茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111
HP <http://www.city.ushiku.lg.jp/>
FAX 029-873-2401



牛久市は
スローフードを
応援しています。



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。